

(別紙5)

【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 26-1-113
補助事業名 平成26年度 学術・文化の振興のための活動 補助事業
補助事業者名 公益社団法人 日本クラフトデザイン協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

1960年に第1回展が開催され、その後、ほぼ毎年開催されている。現代は本当の意味での暮らしの質が求められている。人の心にとどく作品、それらを身近に使う日々の暮らしに彩を添える。こうした日常が将来高い文化となって結実するものとする。また、クラフトデザインは日本の伝統工芸技術が基礎にあり、我が国の持つ優れた文化を現代にいかしながら、その技術と精神を継承している。その精緻な作品の数々は世界の中でも高い評価を得ており、今後更に日本のクラフトへの注目が高まることが期待できる。

クラフトデザインの向上を図り、生活文化の発展に寄与するとともに優秀なクラフトマンの発掘や、次世代の育成を目的に開催されている。日本人の総意工夫で築いた高度で独自のクラフト文化を礎に、豊かな生活環境作りに貢献する。

(2) 実施内容

第54回日本クラフト展開催 (<http://www.craft.or.jp/home/craft54.html>)
会 期： 平成27年1月10日(土)～18日(日)
11:00～19:00(最終日は16時まで)
会 場： 東京ミッドタウン・デザインハブ
(東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー5F)
展示内容： 会員作品と一般公募入選作品・学生入選作品
作品点数： 772点(会員168名、一般103名、学生27名 計298名)
入場者数： 8,564名
事業実施体制： 会員による実行委員会を組織した。

第1回実行委員会

平成26年7月8日(火) 実施スケジュールについて

第2回実行委員会

平成26年10月18日(土) 役割分担について

第2回実行委員会

平成26年11月23日(日) 会場設営について

(別紙5)



第54回日本クラフト展会場



会場看板



会場内 補助事業表示

2 予想される事業実施効果

受賞及び入選作品は、全国のクラフト関係者にとっての指標の一つとなる。素材との関り方やそのデザイン性は地場産業や個人作家、またプロダクトデザインの分野にも影響を与えいくことが予想される。また、平成26年5月に、前年度の日本クラフト展派生事業としてフランス・パリ日本文化会館で展覧会を実施した。日本の質の高い精緻なクラフト作品の数々はパリの方々を魅了し高い評価を得た。平成27年4月には静岡県磐田市で第54回日本クラフト展を基本とした展覧会を実施する。7月には北海道江別市で親子のワークショップと連動した事業を行う。本事業が起点となって海外や地方での展示会等継続的に展開し、クラフト文化、生活文化の向上に寄与するものとする。

(別紙5)

3 本事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

<http://www.craft.or.jp/home/jka/h26craftseika.pdf>

■応募要項 A3 4つ折



■チラシA4



(別紙5)

■B3ポスター



(2) (1) 以外で当事業において作成したもの

<http://www.craft.or.jp/home/jka/h26craftseika2.pdf>

■応募者募集ポスター A3



■作品集



■B1ポスター



■情報誌CRAFT DESIGN



■派生事業～パリ展 日常を演出するクラフト (パリ日本文化会館)



4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 公益社団法人 日本クラフトデザイン協会
(ニホンクラフトデザインキョウカイ)

住所： 151-0053
東京都渋谷区代々木1-37-20 酪農会館404

代表者： 理事長 岡本 昌子 (オカモト マサコ)

担当部署： 事務局 (ジムキョク)

担当者名： 事務局長 西川 雅典 (ニシカワ マサノリ)

電話番号： 03-3370-1324

F A X： 03-3372-4924

E-mail： info@craft.or.jp

U R L： <http://www.craft.or.jp>